

安全で快適にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、お読みになったあともいつでも読み返せるように、大切に保管してください。

リハテック  
**Reha tech S637**  
ハンドル型電動車いす **スマートパル**

311803-8900



## 取扱説明書

 **警告** ご使用前には必ず取扱説明書をよく読んでください。

このたびは、当社の製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
操作に慣れるまでは、広い平坦な場所で十分練習してください。

**FranceBed**

# 目次

## 初めに

運転前の練習 .....	2
--------------	---

## 安全に関する手引き

安全上の注意 .....	4
屋外での走行 .....	7
坂道を走行する時の注意 .....	9

## 使い方を知る

バッテリーの充電 .....	11
充電器の使い方 .....	11
各部の名称 .....	12
用語について .....	13
分解図 .....	14
分解の仕方 .....	15
組み立ての仕方 .....	16
制御システム .....	18
シートの調整をする .....	20
ハンドルポストの角度を調整する .....	22
フリーホイールモード .....	22

仕様 .....	23
----------	----

バッテリー充電に関する注意事項 .....	24
付属品の取付け方 .....	25

## 保証書

## ようこそ

当社の新型電動車いすをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
電動車いすを初めて運転される前に、本取扱説明書をよくお読みになって、正しくご利用ください。  
本取扱説明書にご不明な点がある場合や、電動車いすの組み立てにあたってお手伝いが必要な場合は、  
お近くの販売店にお問い合わせください。

本製品は、ご利用になる皆様が実際にお使いになる際のご要望にお応えできるよう、  
頑丈な構造と最先端のハイテク電子装置を組み合わせることで安全性および性能を高めた最新モデルです。

お近くの販売店で電動車いすの定期点検を行ってください。  
操作のスムーズさと安全性を最大限に保つことができます。

本取扱説明書では、安全性や運転、整備に関するアドバイスや便利な情報をご紹介します。  
本書をよくお読みになり、お一人での快適な移動を存分にお楽しみください。

特別なアドバイスやお手伝いを必要とされる場合は、お近くの販売店までお気軽に  
お問い合わせください。  
電動車いすのツールと知識を持つ専門家によるサポートが受けられます。

皆様のご意見・ご感想を、お近くの販売店ならびに当社へお寄せいただければ幸いです。  
今後のサービス向上のため、また皆様のご要望にお応えするために、  
皆様の貴重なご意見を役立てさせていただきます。

## 表示の意味



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う  
可能性が想定される内容を示します。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定  
される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



**禁止**

この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
(～しないでください)



**強制**

この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
(～してください)

本書に記載されている情報の使用について、当社では何ら法的責任を負うものではありません。  
本書制作にあたっては細心の注意を払っておりますが、  
フランスベッド株式会社では誤りまたは不作為について何ら責任を負うものではなく、  
また、本書に記載された情報の使用に起因する損傷について何ら法的責任を負うものではありません。  
本書ならびに本書に記載された操作説明は、事前の予告なく変更されることがあります。



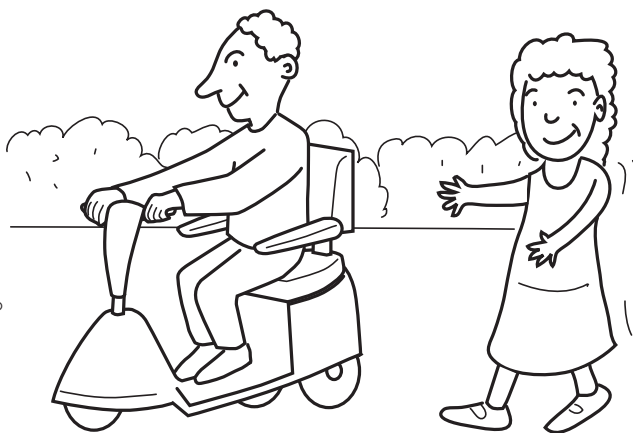
警告

使用前、使用後には、必ず点検（作動確認）を行ってください。  
この製品をご使用になる前、ご使用後には必ず点検を行ってください。  
点検を怠ると事故、故障の原因となります。

### ■ 運転前の練習。

電動車いすの運転に慣れるまでは、公園などの広い場所で、  
補助者の立会いのもとに十分な練習を行ってください。  
座席に乗り降りする前は必ず、電源を切っていることを確認してください。  
運転の習熟度に合わせて、速度設定つまみを調整してください。

本製品の運転に慣れるまでは、  
速度設定キーを常に最低速度に  
合わせておくことをお勧めします。



### 前進、後進、停止の操作の練習

右側のスピードレバーを押すと前に進みます



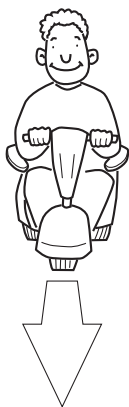
左側のスピードレバーを押すと後ろに動きます。（警告音がします）

スピードレバーを離すと停止します。

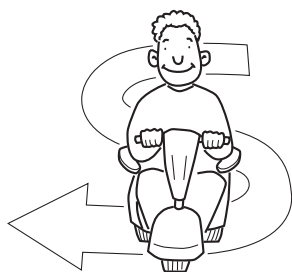


道路交通法において、電動車いすは歩行者として扱われます。  
歩行者としての交通ルールを守って安全に走行してください。

この乗り物に慣れましょう。



まず、まっすぐ走行してください。  
最初は最低速度で確かめてください。



"S" 字クランク走行。  
速度と方向変換のタイミングを覚えましょう。


※減速センサーによりハンドルの角度に連動し、  
カーブでは自動で減速します。



"S"字を練習して慣れたら、後進での動き方を理解しましょう。  
ゆっくり走行してください。

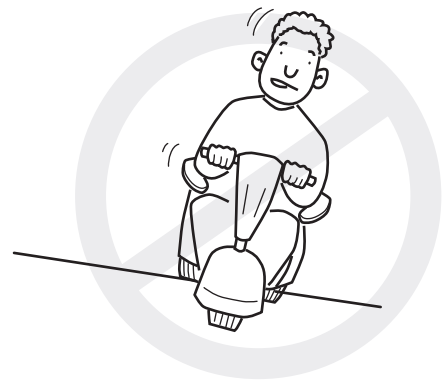
## 安全に関する手引き

### ■ 安全上の注意

 **警告** 次のような操作をしないでください。



 **禁止**  
2人乗りはしないでください。



 **禁止**  
傾斜面は走行しないでください。



 **禁止**

お酒を飲んだ時、過労気味、病気、気分が優れない時などは、  
運転しないでください。事故の原因になります。



 **禁止**

牽引しないでください。



 **禁止**

携帯電話や無線通信機器などをご使用の場合は、  
安全な場所に電動車をとめ、電源スイッチ  
を切にしてからご使用ください。

本製品は20V/mのノイズ耐性（イミュニティ）レベルを備えています。  
これによって、電波発生源による電磁波干渉（EMI：Electromagnetic Interference）  
から本製品を保護することができます。

通信分野を始めとする電子機器類の急速な進歩を受けて、テレビやラジオ、通信信号から  
放出される大量の電磁波（電波）が私たちの周囲を飛び交うようになりました。  
こうした電磁波は目に見えず、発生源に近づくほど強力になります。

あらゆる伝導体は電磁波を受けるアンテナとして機能するため電動車いすは、  
いずれも、程度の差こそあれ電磁波干渉（EMI）に敏感です。  
電磁波干渉は、電動車いすの異常な動きや意図しない動き、あるいは制御の不具合を引き起こす  
おそれがあります。米国政府による以下の声明が、すべての電動車いす取扱説明書に記載されています。

電動車いすならびに電動カート（ここではどちらも「電動車いす」と呼称）は、  
ラジオ局、テレビ局、アマチュア無線（HAM）送信機、送受信兼用無線機、携帯電話等から  
放出される電磁波による干渉（EMI）に敏感に影響される可能性があります。（電波発生源からの）  
干渉によって、電動車いすのブレーキ解除や、自発的な動作、意図せぬ方向への移動を生じさせる  
おそれがあります。また、電動車いすのコントロールシステムに回復不可能な損傷をもたらす  
可能性もあります。電磁エネルギーの強度は、ボルト毎メートル（V/m）という単位で測定されます。

電動車いすはいずれも、ある程度の強度のEMIに耐えられるように作られています。  
これを「イミュニティレベル」と呼びます。イミュニティレベルが高いほど、  
保護の度合いは高まります。現在の技術では、最低20V/mのイミュニティレベルを  
提供することができます。  
20V/mは、一般的な電磁波干渉の発生源に対して有効な保護レベルとされています。

以下の警告に従うことで、重傷事故を引き起こしうる、  
電動車いすの予期せぬブレーキ解除および動作が生じる可能性を低減できます。



**警告** 安全に運転していただくためにかならず守ってください。

- 1) 電動車いすの電源を入れている間は、市民無線（CB）ラジオや携帯電話などの  
携帯型通信機器の電源を入れないでください。
- 2) ラジオ局やテレビ局などの近隣にある送信機には十分注意し、  
近づかないようにしてください。

- 3) 予期せぬ動作やブレーキ解除が生じた場合は、安全な状態に戻り次第、電動車いすの電源をお切りください。
- 4) 付属品および部品の追加や電動車いすの改造によって、電波発生源からの干渉の度合いが高まる可能性があることをご了承ください  
(注意：電動車いすの総合的なノイズ耐性に及ぼす影響を容易に診断する方法はありません)。
- 5) 電動車いすの予期せぬ動作やブレーキ解除は、メーカーに必ずご報告ください。その際に近隣に電波発生源があったかどうかもお伝えください。

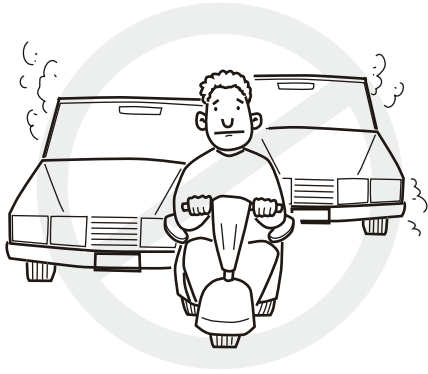
**下記のいずれかが生じた場合は、可能な限り速やかに電動車いすの電源をお切りください。**

1. 予期しない動作をする
2. 不意に方向制御ができなくなる
3. 勝手にブレーキが解除される

FDA（米国食品医薬品局）から車いす製造業者へ向けた文書では、新製品が電磁波による干渉に対する十分なイミュニティレベルを備えているか検査によって確認するようにと要請されています。同文書では、より多くの一般的な電磁波発生源に対して十分な耐性を有するようにと、電動車いすのイミュニティレベルを最低でも20V/mとすることが求められています。イミュニティレベルが高いほど、保護の度合いは高まります。

■ 屋外での走行

 **警告** 安全に運転していただくためにかならず守ってください。



 **禁止**

車道での走行は避けてください。



 **禁止**

防止柵のない側溝で走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく雨ふりの走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく雪道で走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく荒れた道路で走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく夜間の走行は避けてください。



⊘ 禁止

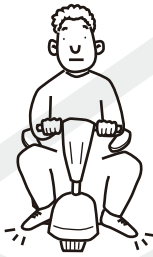
後進するときには、後方の人や障害物、くぼみなどに十分注意してください。

後進の場合は最小速度を調節してください。



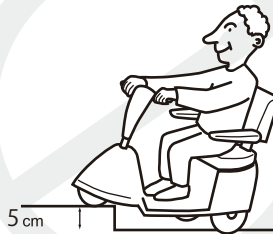
⊘ 禁止

蛇行、急旋回、急停止は避けてください。



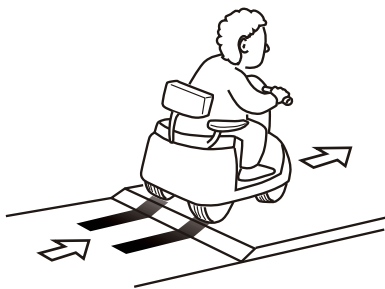
⊘ 禁止

手足など体の一部を車体からはみ出さないでください。



⊘ 禁止

5cm以上の段差を登らないでください。



! 強制

段差を超える際は垂直で進入し、低速で走行するようにして下さい。



⊘ 禁止

10cm以上の溝は越えないでください。

※溝を超える際は垂直で進入し、低速で走行するようにして下さい。

※車輪幅以上の縦溝にもご注意下さい。

## ■ 坂道を走行する時の注意



警告

坂道は平らな道より危険です。これらの警告に注意しないと、衝突や転倒など事故の原因となります。



### ⊘ 禁止

前後10°以上の角度を登らないでください。  
前後10°以上傾斜のあるところは転倒事故および電動車の損傷の原因になります。  
安全傾斜角度を超える急な坂を走行すると光と音で警告をお知らせします。(前後約10°以上)



### ⊘ 禁止

坂道での後進はしないでください。

坂道は前進のみ使用してください。上り坂で後進すると、転倒事故及び電動車の損傷の原因になります。



### ⊘ 禁止

左右3°以上傾斜のあるところは走行しないでください。  
左右3°以上傾斜のあるところは転倒事故および電動車の損傷の原因になります。  
安全傾斜角度を超える急な坂を走行すると光と音で警告をお知らせします。(左右約4°以上)



### ⊘ 禁止

平らでない道や、砂利道や、防止柵のない側溝、草地など走行しないでください。



### ⊘ 禁止

下り坂を走行するとき、最低速度にしてください。

下り坂を走行しているときは、止まるまで時間がかかります。



### ⊘ 禁止

坂道は車いすから降りないでください。

必ず平らな道に止めてから降りてください。



### ⊘ 禁止

坂では、重い荷物をバスケットに載せたり  
運んだりしないでください。



### ❗ 強制

いつも勾配に対して垂直の位置で走行してください。

## バッテリーについて

電動車いすには整備不要のバッテリーユニットが2つ付属しています。  
正しい充電のほかには、バッテリーのお手入れは必要ありません。

## バッテリーの充電

補足：電動車いすを初めてお使いになる場合、バッテリーはわずかに充電されていますが、満充電を行うまでは最高走行距離に達するまでの走行をすることはできません。

車いすには充電器が付属しています。

バッテリーの寿命や出力、走行距離を最大限に高められるよう、以下の手順に従って充電を行ってください。

### 警告！

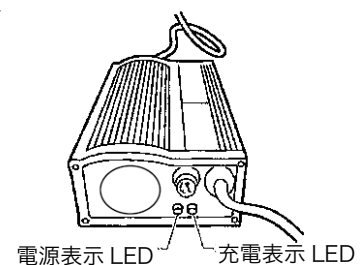
アースのないコンセントを使った場合、感電するおそれがあります。  
バッテリーの充電は必ず2個セットで充電してください。  
充電器が電源につながっている状態で、バッテリーを外さないでください。  
屋外や充電器が濡れそうな場所では、車いすに充電しないでください。

## 充電器の使い方

1. 電動車いすの電源を切ります。
2. 充電ケーブルをコンセントに差し込みます。
3. 充電ケーブルをバッテリーユニットの間にある電源ソケットに差し込みます（電源ソケットの保護カバーを回転してください）。
4. ACパワースイッチを「|」にするとファンが動きはじめ充電が始まります。充電中は、充電器のランプが点灯して充電状況を知らせます。ランプは、充電器がスタンバイ状態にあるときは「赤」、充電中は「黄色」、充電が終了して車いすが満充電の状態になると「緑」で点灯します。  
充電時間：最長7時間程度



電源ソケットに差込む



※付属の充電台を使って車体からバッテリーを外して充電する事も出来ます。→P.24

## ■ 機能図 (各部の名称)

ここではS637がどのように動作するのか、多くの機能を紹介します。  
S637がダメージを受けた場合はその都度、各部を点検してください。  
S637は、次のコンポーネントで構成されています。



S637

※写真は一例です、実際と異なる場合があります。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. ハンドルポスト   | 8. ノーパンクタイヤ(後輪)   |
| 2. 電源キー      | 9. 車体本体           |
| 3. スピードレバー   | 10. ノーパンクタイヤ(前輪)  |
| 4. シート       | 11. 減速センサー        |
| 5. バッテリーユニット | 12. フロントバスケット     |
| 6. 杖ホルダー     | 13. ハンドルポスト角度調整ノブ |
| 7. リアバスケット   |                   |

## ■ 用語について

1. **ハンドル**            ハンドルでこの乗り物を操作します。
2. **ハンドルポスト調整ノブ**    このノブをゆるめ、ハンドルポストの角度をお好みの位置で調整できます。走行時には確実に固定されている事を確認してください。
3. **シート**                            運搬時にはシートを取り外し運び易く出来ます。
4. **アームレスト**                    アームレストの幅と角度の調整が可能です。
5. **シート回転レバー**            このレバーを引き上げるとシートを回転させることが出来ます。45°ごとに固定できます。運転時には必ずシートは前向きに固定してください。
6. **ノーパンクタイヤ**                パンクしないノーパンクタイヤを採用しています。
7. **フリーホイールレバー**        車いすは、手押しで動かせるようにするための「フリーホイール」機能を備えています。手押しで動かせるようにするには、電源キーをOFFにして、リアカバー右側にあるフリーホイールレバーの位置を確認します。
8. **電源キースイッチ**            オンとオフは電源キーで操作します電源キーを抜き取ると。電源キーは、車いすの無断使用や盗難を防止する「盗難防止キー」としてもお使いいただけます。
9. **スピードレバー**                スピードと前後の操作切り替えに使用します。
10. **バスケット**                      フロントバスケットはハンドルポストに引っ掛けて使用します。制限重量は5Kgまでです。リアバスケットはカバー付きです。制限重量は8Kgまでです。
11. **取り外し可能な  
      バッテリーユニット**        バッテリーユニットは取り外して充電台を使用して充電もできます。自動車等での運搬時は車体から取り外し、運搬し易くできます。
12. **減速センサー**                ハンドルの角度に連動し、カーブでは自動で減速します。
13. **傾斜警告センサー**            車体の前後左右の角度に連動し、安全傾斜角度を超えると音と光でお知らせします。※しばらくすると光のみの表示になります。

## ■ 分解図



電動車いすは、車体本体、杖ホルダー、バッテリー、シートおよびフロントバスケットの5つの部分に分解できます。  
車いすを分解するときは、以下の手順にしたがって、慎重に作業してください。

1. 車体本体
2. 杖ホルダー
3. バッテリー
4. シート
5. フロントバスケット



※写真は一例です、実際と異なる場合があります。

警告！ 車いすの組み立てには、重い部品を持ち上げて取り扱う作業がともないます。

警告！ 指つめに注意、なるべく手袋等を着用してください。  
部品の持ち上げや取り回しの際は、指をはさんだり、手が下敷きになったりしないように注意してください。

警告！ バッテリーを取り付けた状態では車体を持ち上げないでください。腰を痛めるおそれがあります。



## 分解の仕方

この電動車いすは車体本体、バッテリーユニット、シート、前カゴ、杖ホルダーの大きく5つの部品に分解する事が出来ます。

下記の手順で分解し、丁寧に運んで下さい。

前カゴ、杖ホルダーは付属品の取付け方をご参照ください。→p.25

手順1: シートを外します。(右側のレバーを引きながら持ち上げて下さい)



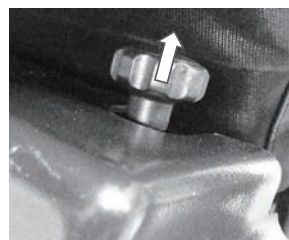
手順2: バッテリーユニットを外します。

バッテリー上部のロックノブを引き上げ、バッテリーの固定を解除しながら、バッテリーユニットの取っ手を前上方向に引き、取り外します。

- ①. バッテリー上部のロックノブを引き上げますと、ロックが解除されます
- ②. ロックノブを引き上げながら、バッテリーを②の矢印方向に引き、バッテリーを外します



ロックノブ



バッテリー上部のロックノブを上へ引くと  
バッテリーの固定が解除します。

ロックノブを引き上げながら、  
バッテリーを外します

反対側も同様に、バッテリーを外します

警告！ 電動車いすの組み立てには、重い部品を持ち上げて取り扱う作業がともないます。

警告！ 指つめに注意、なるべく手袋等を着用してください。  
部品の持ち上げや取り回しの際は、指をはさんだり、手が下敷きになったりしないように注意してください。

警告！ バッテリーを取り付けた状態では車体を持ち上げないでください。腰を痛めるおそれがあります。

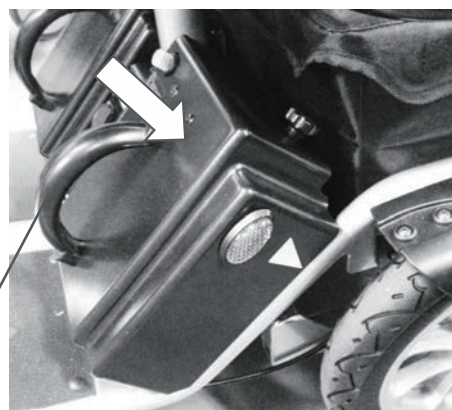
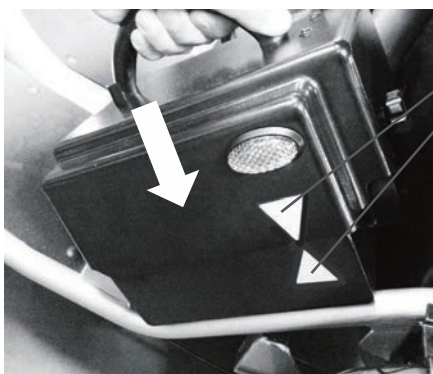


## 組み立ての仕方

手順1: バッテリーユニットを元の位置に戻します。

バッテリーを三角シールの位置を合わせ、まっすぐ最後まで差込みます。  
バッテリーユニットのロックノブが完全に下がり、固定されている事を確認して下さい。  
バッテリーを引っ張り、しっかり固定されている事を確認して下さい。  
反対側も同様に、バッテリーを取付けます

三角シールを合わせる



まっすぐ最後まで押し込む



ロックノブ

バッテリー上部のロックノブが完全に下がり、ロックされている事と、  
バッテリーを引っ張り、固定されている事を確認して下さい。

手順2: シートを戻します。(右側のレバーを引きながらシートポストに差込んで下さい)



## 運搬時は

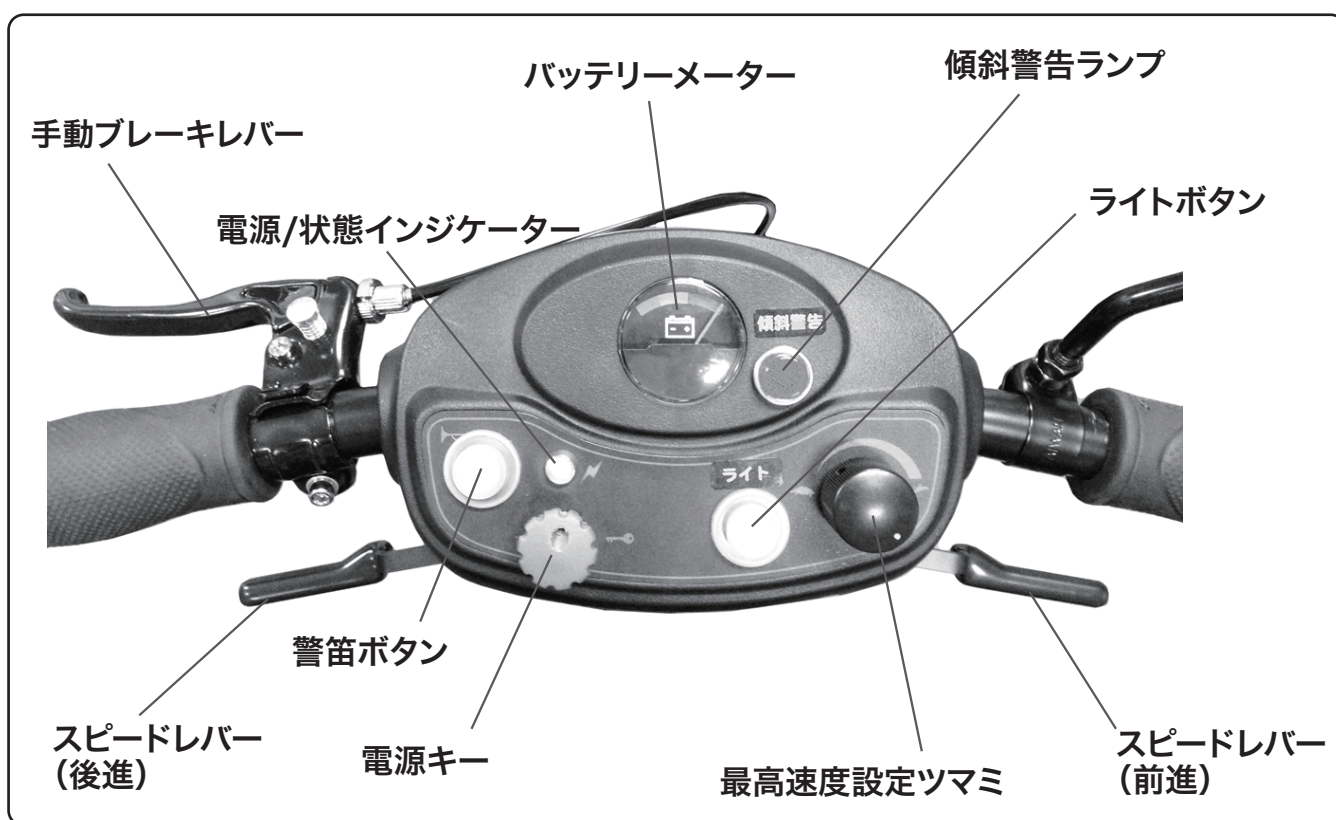
ハンドルポストはハンドルポスト角度調整ノブを緩めてたたむとコンパクトになり、運搬しやすくなります。



ハンドルポスト角度調整ノブ

## ■ コントローラーについて

走行する前に、コントローラーの使い方に習熟しておきましょう。



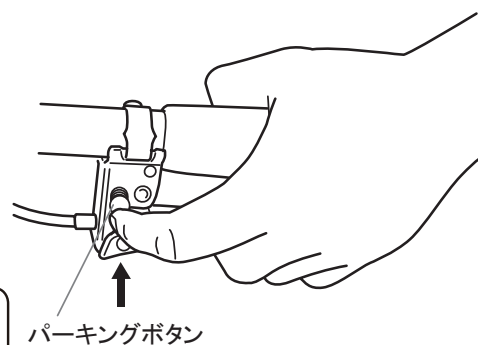
### 手動ブレーキレバーについて

※走行時に制動用として使用するものではありません。

手動ブレーキは、フリーホイールモード時等に不用意な電動車いすの動きを防止します。手動ブレーキレバーを握ると後輪にブレーキがかかります。

ブレーキレバーを握り、パーキングボタンを押すと、パーキングブレーキがかかった状態となります。

パーキングブレーキの解除は、ブレーキレバーを握れば自動的に解除されます。



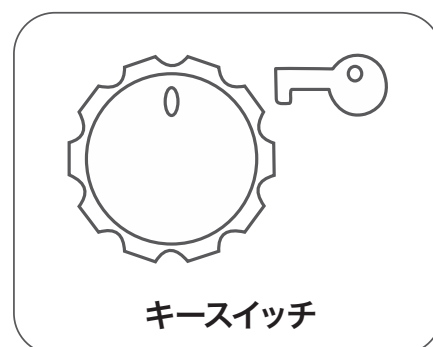
**警告** 走行前には、必ずパーキングボタンが解除されている事を確認してください。

## ■ 制御システム

運転に慣れるまでは、低速で走行してください。  
電動車いすをうまく操縦できないと、搭乗者と周りの人が大ケガを負うおそれがあります。  
電動車いすが速すぎて操縦しにくくなったときは、スピードレバーから手を離すと、  
電動車いすの速度が下がって完全に停止します。  
電動車いすを緊急停止するとき以外、電源キーをブレーキに使わないでください。

### キースイッチ(電源キー)

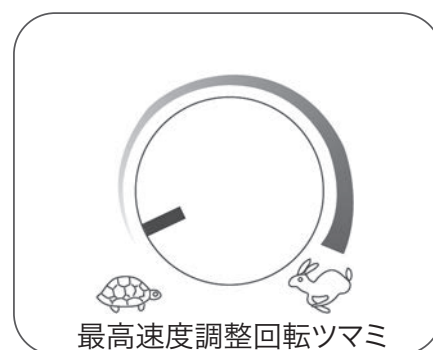
キーを一番下まで差込むと車いすの電源が入り、  
運転可能な状態になります。  
キーを引き抜くと車いすの電源が切れます。



### 速度調整

この電動車いすの最高速度は、  
最高速度調整回転つまみによって調整されます。  
表示のカメは遅い、ウサギは早いを意味しています。  
つまみを反時計周り(カメ)に回すとスピードは遅くなり、  
時計回り(ウサギ)につまみを回すと高速になります。

※カーブ走行時は、ハンドルの切れ角と  
最高速度調整つまみ位置に応じ、自動的に減速します。



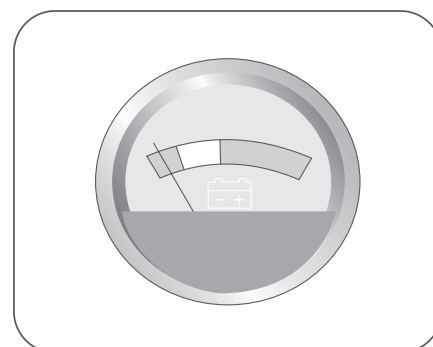
### 前進/後進/ブレーキ

右レバーを押すと前進し、左レバーを押すと後進します。



### バッテリーレベルインジケーター

バッテリーの充電レベルを示します。  
バッテリーの消費に連動して針が右の緑色から  
左の赤色に動きます。  
赤色部分に針が位置している場合は、  
バッテリーをできるだけ早く充電する必要があります。



## 傾斜警告ランプ

安全傾斜角度を超える急な登り坂を走行すると光と音で警告をお知らせします。(前後約10°左右約4°以上)

※しばらくすると光のみの表示になります

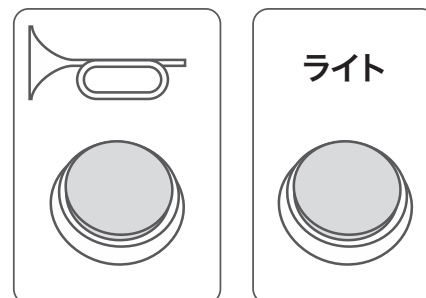
登坂を中止して引き返してください。

ゆるやかな坂や平坦路にもどれば、警告は止まります。



## 警笛ボタン・ライトボタン

- ・警笛スイッチを押すと、警笛が鳴ります。スイッチから手を離すと、警笛が止みます。警笛は車いすが近づいていることを周りの人に知らせるのに便利です。見通しの悪い曲がり角を走行するときにも警笛が役立ちます。
- ・ライトボタンを押すとライトが点灯します。もう一度押すと消灯します。



## ステータスインジケータランプ(状態の表示)

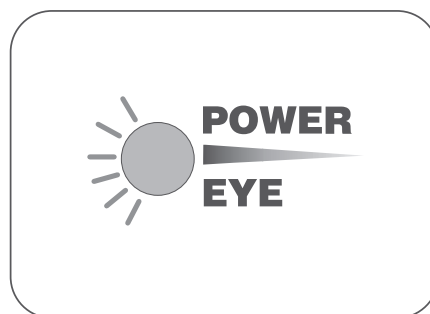
電動車いすの電源を入れ、車いすの状態がすべて正常のときは、状態表示ランプが点灯します。

何らかの異常があるときは、ランプが点滅して注意をうながします。

点滅パターンの違いとその意味について詳しくは

以下の表をご覧ください。

※フリーホイールの状態で電源を入れても一回点滅になります。



点滅回数	意味	点滅回数	意味
1	バッテリーを充電してください	6	電源を入れると勝手に動きだす
2	バッテリー電圧が低すぎます	7	スピード調整機のエラー
3	バッテリー電圧が高すぎる	8	モーター電圧エラー
4	電流がタイムリミットを超過しました	9	その他の内部エラー
5	ブレーキの故障		

※3回以上点滅の場合は販売店にお問い合わせください

## スピードレバーと電磁ブレーキ

スピードレバーを押すと、電磁ブレーキが自動的に解除されて車いすが動きだします。スピードレバーから手を離すとレバーがニュートラル位置に戻り、車いすの速度が下がって完全に停止します。停止後は、車いすが動かないよう電磁ブレーキがかかります。

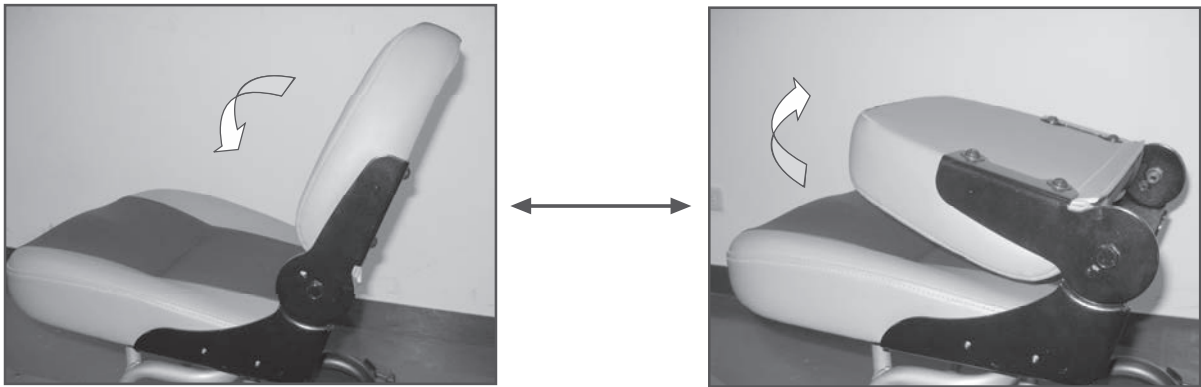
### 警告!

電動車いすが思いがけない動作をしたときは、スピードレバーから手を離して電源をお切りください。

## ■ シートの調整をする

### 背もたれの折り畳み

- バックレストを折りたたむと、搬送しやすくなります。



### 座席の回転

(シートの脇にある)シート旋回レバーで、シートを45°の範囲で回転させることができます。シートを回転させることで、シートから楽に乗り降りできるようになります。

- 旋回レバーを引き上げてロックを外し、シートを回転させます。
- シートを好みの位置まで回転させます。レバーから手を離れた状態でシートを前後に軽く動かして、レバーをロックさせます。



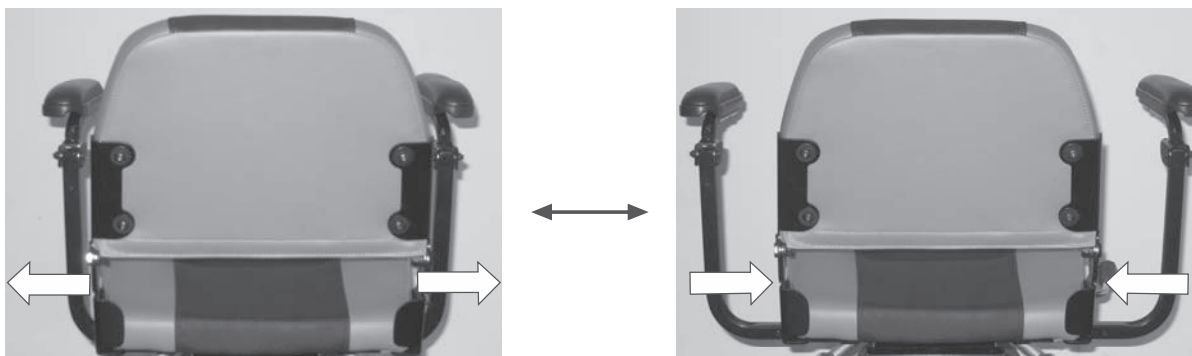
### アームレストの跳ね上げ

- アームレストは跳ね上げる事が出来、乗り降りし易くなります。



## アームレスト幅調整

- 幅固定ノブの位置を確認します  
(アームレスト支持部からシートの下までたどった先)。
- 幅固定ノブを反時計回りに回して、アームレストが動くまでノブを緩めます。
- アームレストを動かして、ちょうどいい穴位置に合わせます。(MAX刻印以上に広げないで下さい)
- 幅固定ノブを締めます。

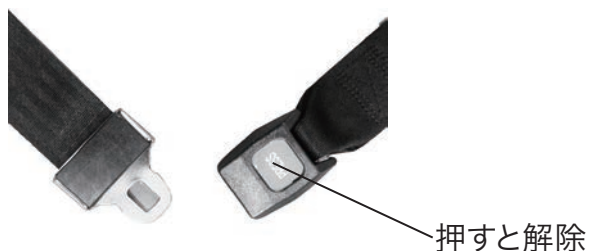


## シートベルトの取付

- 取付け位置はアームレストと座面の連結部です。
- 左右のアームレストを外し、ベルト先端の輪にアームレストのフレームを通してアームレストを再び取付けて下さい。



- バックルの赤い「PRESS」ボタンを押すとベルトが解除されます。
- 金具側でベルトの長さを調整し、腹部への圧迫が少ない状態でお使い下さい。



警告

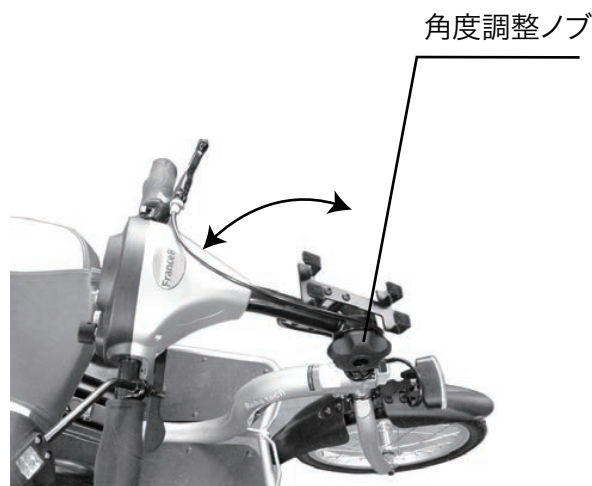
姿勢が崩れやすい状況でお使いの際には、シートベルトを着用して転落の無いよう安全にお使い下さい。

 **警告** 安全に運転していただくためにかならず守ってください。

## ■ ハンドルポストの角度を調整する

ハンドルポストの角度を調整して、操作がしやすいよう制御パネルの位置を手前または遠くにすることができます。

- ハンドルポストの下にある角度調整ノブの位置を確認します。
- ハンドルポストを片手でしっかり支えながら、もう片方の手で角度調整ノブを緩めます。緩めると角度調整可能となります。
- ハンドルポストを好みの角度に動かしてください。角度が決まったら角度調整ノブを確実に締め付けて固定してください。



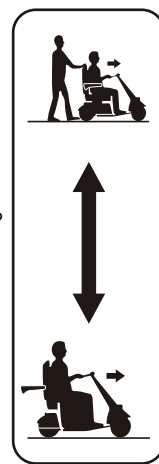
## ■ フリーホイールモード

フリーホイールレバーがドライブポジションの時(下)は電磁ブレーキのため自動ブレーキが効いています。フリーホイールポジション(上)の時は電磁ブレーキが解除されますのでフリーホイールポジションでは、決して車いすに乗り込まないでください。

### 手押しのフリーホイールモード

電動車いすは、手押しで動かせるようにするための「フリーホイール」機能を備えています。手押しで動かせるようにするには、電源キーをOFFにして、リアカバー右側にあるフリーホイールレバーの位置を確認します。レバーを引いて「フリーホイール」ポジションにすると、ブレーキが解除されます。レバーを押して「ドライブ」ポジションにすると、ブレーキが再び有効になります。車いすを手押しのフリーホイールモードにしているときは、電磁ブレーキがかかりません。車いすは運転不可能な状態になります。電動車いすを押して少し移動させたいときなどは、手押しのフリーホイールモードにすると便利です。

フリーホイールポジション



ドライブポジション

### 車いすへの乗り降り

電動車いすは簡単に乗り降りできるよう設計されています。電動車いすが平らな場所に停止して、電源キーがOFFになっていることを確認します。必要に応じてアームレストを上げて場所をあけ、シートに乗り降りしやすいようにします。乗り降りが終わったら、運転を始める前にアームレストを元の位置に戻してください。

**警告!** フットレストに両足が乗っていない状態では、車いすを運転しないでください。フットレストに両足が乗っていない状態で運転すると、大ケガをするおそれがあります。

## ■ 仕様

機種	S637
全長	1190mm
幅（最大）	665mm
高さ（最大）／シート高さ（地面から）	1050mm/580mm
前輪タイヤ	16インチ ノーパンク
後輪タイヤ	12インチ ノーパンク
制限重量	100kg
最高速度	6km/h（最高速度内で調節可）
満充電時連続走行距離	約24km（条件により変動します）
最低地上高	80mm
バッテリー	12V 18.7Ah(5時間率)×2 完全密閉式
バッテリー重量	15kg（2個）
ブレーキ	電磁ブレーキ 手動ブレーキ
本体重量(バッテリー含む)	64kg

製品改善の方針上、事前の通知なく仕様を変更することがあります。

## バッテリー充電に関する注意事項



**警告!** バッテリー充電中は決して喫煙したり、ガスヒーターなど火気のあるところで充電を行ったりしないでください。ごくまれに、バッテリーから漏れたガスに着火して爆発を起こすおそれがあります。

バッテリーボックスに破損がないことを、必ず確認してください。

バッテリーと充電器は防水設計を施されていないため、屋外では充電しないでください。

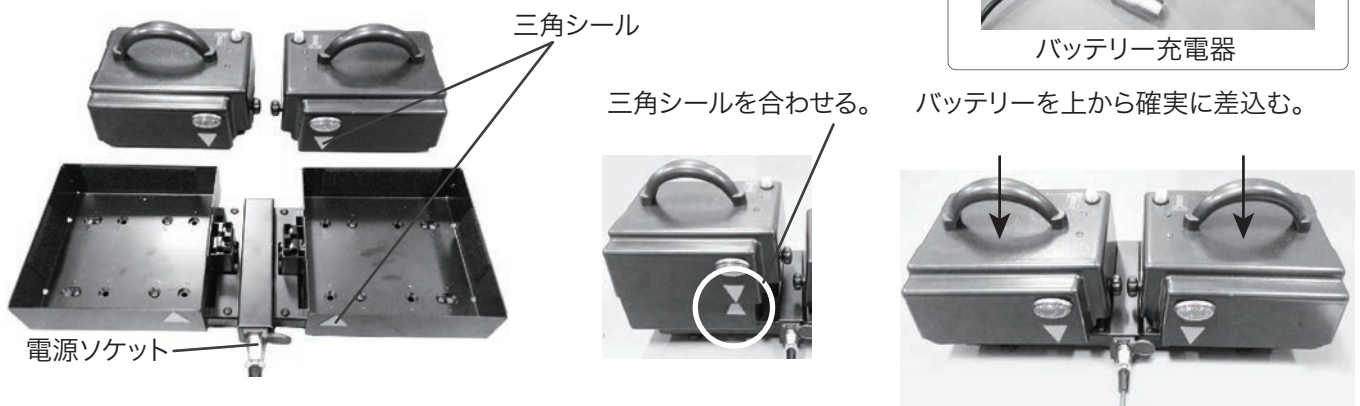
**警告!** 車いすのバッテリーの充電に使用する電源コンセントを、30 mAの漏電遮断器(RCD)で保護しておくことを強くお勧めします。

**警告!** バッテリーの充電中は充電器が電源につながっている状態のため、決して車いすへの取り付けや取り外しを行わないでください。電源コンセントにスイッチがある場合は、スイッチを切った後で充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 充電台を使用して充電する。

充電台の電源ソケットは充電台の前面、保護用スイングカバーの下にあります。保護用スイングカバーをずらして、充電器が電源につながれていない状態で、充電プラグを充電台のソケットに差し込みます。

バッテリーと充電台の三角シールの位置を合わせ、上から確実に差し込みます。



充電器を電源コンセントにつなぎ、壁のコンセントにスイッチがある場合はスイッチを入れます。

充電が終わったら、電源プラグを壁のコンセントから抜き、充電プラグを充電台から抜きます。

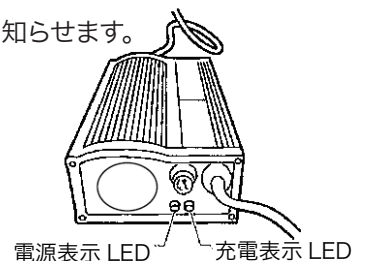
その後、充電ソケットに泥や湿気がつかないように保護用スイングカバーをかけ直します。

バッテリー充電器には表示ランプがあり、色の変化によってバッテリーの充電状況を知らせます。

充電器を電源につないでスイッチを入ると、電源表示LEDが赤く点灯します。

バッテリーの充電が完了すると、充電表示LEDが緑色に点灯します。

- ・赤で点灯 — 電源ON、充電は行われていません
- ・黄色に点灯 — 充電中
- ・緑で点灯 — 充電完了
- ・点灯なし — 充電器が電源につながっていません



**警告!** バッテリーの充電は必ず2個セットで充電してください。

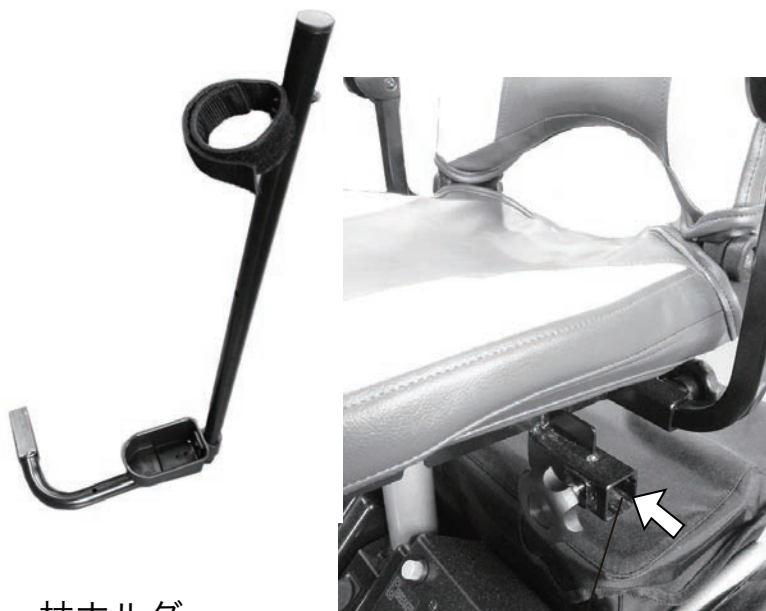
充電器が電源につながっている状態で、バッテリーを外さないでください。

屋外や充電器が濡れそうな場所では、充電しないでください。

## 付属品の取付け方

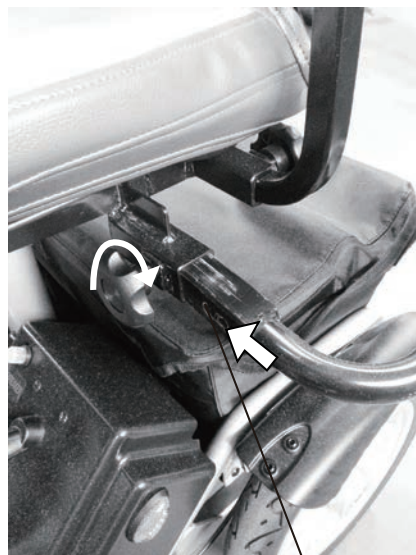
### 杖ホルダーの取付け方

杖ホルダーを図のように取付けます。



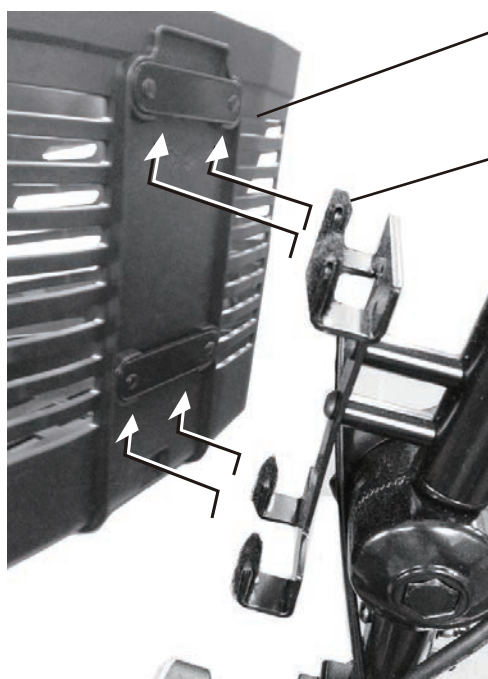
杖ホルダー

シート左側下に  
差し込み部があります



杖ホルダーを差し込み、  
ノブで車体と固定します。

### 前カゴの取付け方



前カゴ

ハンドルポストの金具

前カゴを図のように  
ハンドルポストの金具に取り付けます。  
カゴを下まで確実に差込んでください。

※機種により形状や仕様が異なる場合があります。

# 保証書

お届け日 平成 年 月 日

お客様  
ご芳名 様  
〒□□□□-□□□□  
ご住所  
TEL

販売店  
店名・住所

保証期間

お届け日より

# 1年

## 保証の適用除外

保証期間中でも次のような場合には、有料修理又は出張料を申し受ける事があります。

- (1) 本保証書のご提示が無かった場合。
- (2) 本保証書にお届け日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
- (3) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
- (4) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (5) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
- (6) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
- (8) 指定電源(AC100V 50Hz/60Hz)以外の使用、及び異常電圧による故障又は損傷が生じた場合。
- (9) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
  - ① 布地、革、ソフトレザー等の破損、変色。
  - ② 木部の変質、塗装・メッキ部の曇り変色。
  - ③ 電球の切れ。
- (10) 一般家庭用以外(例、業務用等)に使用された場合の故障及び破損。
- (11) 設置場所(床面のゆがみ等)に起因される異音、組立不具合。
- (12) 本製品外より発生した食虫害。

## 設置場所

(1) ご贈答品、あるいは転居等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書記載のお客様相談室へご相談下さい。

(2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

## 法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

## 保証の態様

- (1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
- (3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

## 保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。

※ご注意 納品書又は領収書を併せて保管願います。

## 保証の対象

消耗部品を除く、本体とし保証期間は別表によります。尚、別売部品をご選択の場合は、別売部品添付の保証書によります。

## 免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

## 販売店様へのお願い

ご販売又はご配送時に保証書の所定事項(お届け日、販売店名)をご記入の上、お客様へお渡し下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5  
TEL 042(543)3111(代表)



# お問い合わせ先

## お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付け下さい。

◎ 弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げの販売店又は弊社相談室にお問い合わせ下さい。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時  
土、日、祭日、年末、年始等は除く

# FranceBed